

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
31422	上下水道台帳整備事業	建設水道課	上水道工務係	小野 耕一	山田 隆
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	2168
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 特別	5702	公共下水道事業
	<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 特別	9126	上水道管路システム構築事業	
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり
		節	(コード選択)	1節	地域基盤整備
		項[基本施策]	(コード選択)	4項	上水道事業の推進
目[主な施策]		(コード選択)	2目	施設等の計画的な維持・更新	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

上水道、小野簡易水道の利用者及び公共下水道、特定環境保全公共下水道利用者ならびにそれら情報を必要とする人

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

町内に布設されている水道管、下水道管路、口径などの必要な情報を台帳整備(地図化、デジタル化)して速やかに情報を提供できるようにする

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- 町内に布設されている水道管路の台帳整備を行い、管路台帳として必要な住民に提供可能にする
- 下水道管路の台帳整備を行い、管路台帳として必要な住民に提供可能にする
- 上下水道台帳を、データベース化、デジタル化し、迅速に正しい情報を提供できる体制にするとともに、維持管理に有効活用する
-

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	辰野町上水道、小野簡易水道の水道管路延長	km	172	172	172	1.00	172
説明	資産台帳における管路延長	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 上水道、小野簡易水道の資産台帳の管路延長より					
② 指標名	下水道整備済管路延長	km	162	162	162	1.00	162
説明	事業認可計画計画内の下水道整備延長	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 下水道事業管路延長調書より					

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	辰野町上水道、小野簡易水道の管路台帳整備率	%	58	58	100	0.58	100
説明	水道本管延長に対する台帳整備済の割合	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 台帳整備済延長/水道資産台帳管路延長					
② 指標名	下水道整備済管路台帳整備率	%	100	100	100	1.00	100
説明	整備済管路延長に対する台帳整備済延長の割合	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 台帳整備済延長/下水道整備済管路延長					

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 決算	平成26年度 見込み
対前年比	%		170.3	121.9	152
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0	0
B)一般財源(税金)		11,608	19,765	24,102	36,629
①事業費	(千円)	10,542	18,354	21,976	34,859
対前年比	%		174.1	119.7	158.6
②人件費の概算	(千円)	1,066	1,411	2,126	1,770
対前年比	%		132.3	150.7	83.2
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.02 0.02 0.04	0.21 0.33 0.25
臨時職員		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある	B 変化していない	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 情報不足の苦情、それによる事故発生
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要	
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である	Bの場合、その具体的な内容をお書きください	
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している	Bの場合、その具体的な内容をお書きください	
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください	
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	C	A すでに実施している	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください	

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
上水道管路台帳、下水道管路台帳ともにH26までに、デジタル化、データベース化を図る。また、順次台帳未整備部分の解消を図る	〔反映内容〕 上水道管路台帳システム業務、下水道管路台帳システム化委託。データ入力臨時職員費用

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	H26年度をもって管路台帳のシステム化が整備されるので、今後は附帯する宅内工事等の登録を行い情報のデジタル化を進める。

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
住民サービス、震災対策面からも重要な事業であり、H26年度にはデジタル化を終了させる。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a~e を選択